

企業の環境への取り組みについて高校生が感じたこと

平成 29 年 10 月 30 日

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)

消費者教育委員会 環境グループ

環境学習の一貫として、NACS による環境授業に続き、様々な業種から11の企業・NPOの協力を得て、3時間目、4時間目に企業等の環境への取り組みの授業を行いました。生徒は希望の企業等の授業を受講しています。本報告書は、企業等の環境への取り組みを紹介する環境授業を実施した後に行ったアンケートから高校生が感じたことを企業別にまとめました。

アンケート実施概要

調査日：平成29年10月3日

調査対象：神奈川県立海老名高等学校 1年混合クラス 全79名 回収率 100%

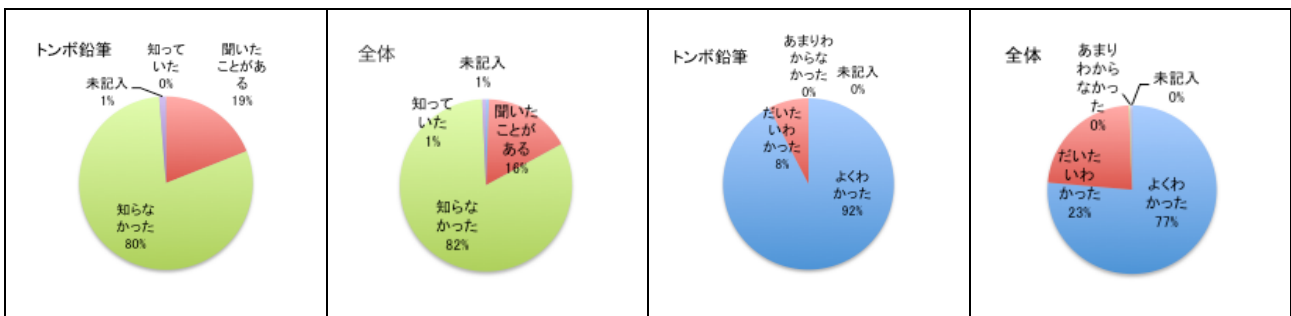
協力企業：株式会社トンボ鉛筆

Q1. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」

について知っていましたか？

Q2. 授業の内容はわかりましたか？

企業等別 (n=79)、全体 (n=698)



Q2で答えた理由を聞かせて下さい。

<よくわかった、だいたいわかった>

- 商品がどのように作られたか興味があったので商品開発の説明を聞いて良かった。
- 自分たちで組み立てながら教わったから。
- いろいろな商品の材料もリサイクルしていて感動した。環境以外でも商品の話が聞いて良かった。
- 物を使いながら教えてくれたから。図やプロジェクターを使っていて分かりやすかった。
- すべてをリサイクルしたいが、精密な技術が必要なものは使えないと分かったから。
- 商品に触れながら説明を受けたから。
- 木物語の鉛筆は小さいころよく使っていたので、エコとつながっていることを知り興味深かった。
- 開発する時の話があって分かりやすかった。実物を使った授業が楽しく興味がわいた。
- 本物のテープのりを見ながらだったので、リサイクルして使う部分とリサイクルはできない部分の違いが分かった。また鉛筆に本当につなぎ目があって面白いと思った。普段は気づかないことを知ることができた。
- ゆっくり詳しく画像を使って説明してくれたから。
- 商品を持ってきてくださって、その場で説明いただいて分かりやすかった。

説明が分かりやすい。順番に話をしてくれるのは良かった。実際に組み立てるのが良かった。
パワポを使った授業だったり、絵や図を使っていたので分かりやすかった。体験型でとても面白かった。
実際に文房具を自分で作ることで理解できた。
性能を良くするために細かな部品は廃棄されるが、なるべくリサイクルできるように商品を開発している。
生産や原材料調達の時に環境への取組みをしていると分かった。実際の商品を見てリサイクルしている商品とか、工夫がされている鉛筆だと分かった。
使用者がこだわりを持って買う事が環境にもつながっていると分かった。
実際の商品を使ってリサイクルできるか廃棄になるか説明してもらったから。
実際に部品などを組み立てて取り組むことができた。
説明が分かりやすかった。
どうしたら資源の量を減らせるかを細かく説明してくれた。
プロジェクターを使っていて分かりやすかった。商品組み立てが楽しかった。
黒板に絵や表を書いてくれたり、スライドを見ながらの説明だったのでわかりやすかった。
リサイクルできない商品もあることが分かった。少しでもムダをなくそうとしていることが分かった。
実際に組み立てたり商品にさわることができ分かりやすかった。
実際に商品を使ったりプロジェクターを使っていて分かりやすかった
色々なものをリサイクルしていると思った。鉛筆の作り方で木をムダにしないようにしていると思った。
プロジェクターを使ったり実際に物をさわることができ分かりやすかった。
生産するときに環境に配慮していると知り、私たちもその努力を理解し、できることをしようと思った。
黒板での説明も分かりやすかった。実際に組み立てた後に、この商品は環境に配慮していることを聞いたので印象深かった。
詳しい説明。
色々な取り組みをされていてすごいと思った。私たち消費者も一人ひとりが意識して買い物をしたいと思う。
実際に作り、どのような物かよく分かった。実物を見せながらの説明なので分かりやすかった。
最後の方、焦っている感じではあったが伝えたいことは分かった。
説明が分かりやすかった。興味深かった。
どのようにして製品がつくれるのか説明が分かりやすかった。環境への配慮が沢山されていることが分かった。
開発の大変さを知ることができた。組み立てるのが楽しかった。廃棄をせず、リサイクルの大切さも分かって役立った。
資料が多くて分かりやすかった。実物があったので分かりやすかった。
実際に作ったりすることができたから。
プロジェクターを使っていて分かりやすかった。
プロジェクターや黒板を使ってくれたのでイメージしやすかった。
黒板や絵を使って分かりやすかった。
商品の組み立てをしながらなので、分かりやすかった。
作業をしながらできたから。
画像を使って分かりやすかった。
物の一生の中で、やはり大切に使うことが大切だと良く分かった。
実際に触ったりできたから。

実際に物を見ることができたので環境への気使いが良く分かった。
講師の先生が丁寧に説明をしてくれたから。
実際にテープのりを組み立てることができたり、スライドを使って分りやすかった。
文具と環境を絡めた話でとても興味をもつことができた
環境のこともよく分かった。実際自分の手で組み立てることで商品のことも良く分かった。
実際の商品を触りながら話を聞いて楽しく理解できた。
話がとても分りやすかった。
実際に手に取って、どのようなところがエコなのかよく理解できた。
実際に文具を組み立てたりと、実技があったのでとても興味を持って話を聞いた。
組み立てたりして文房具の中を知ることができたから。
図や映像の説明が多く、やりながら聞くことができた。組み立ての体験もまざっていて興味をもちながら聞いていた。
実際に商品を作ったりして、トンボ鉛筆のエコ活動を知ることができ楽しかった。
実物を一人ひとりに配布して説明いただけだったので、どんな工夫をしているか感じ取ることができた。
イラストやパワポを使って説明していたから。詳しく1つ1つ教えてくれた。説明もゆっくりしてくれた。
実際に物を作って身近に感じる事ができた。
実際に組み立てて、どの部分がリサイクルなのか説明があったから。
鉛筆等は消耗品だから「エコ商品」というのを聞いてもあまりパツと思うことが無かった。でも今日の授業を聞いて少しでも環境に優しくしようという取組みはすごいと思った。
実物を見せてもらい、作る過程と、できた後の鉛筆のつなぎ目を見て分かった。説明も詳しくてスクリーンに映されていて分りやすかった。
実際に自分たちの手でテープのりを組み立てることで、どの部分にリサイクル材が使われているか理解できた。
実際に組み立てて、どこがどうエコなのか分りやすかった。
実際に商品を触ったり細かいところまで説明してくれた。テープのりでの説明がとても分りやすかった。
テープのりを実際に触って、どうしてエコにつながるのか分かった。話を聞くだけでなく、目で見て、さわれることで実感がわいた。
自分たちでテープのりを組み立てたり、鉛筆を実際に見ることができた
プロジェクターと黒板を使った授業で、図などが分りやすかった。
実際に商品を開発した人が当時の話をしてくれたので良く分かった。
色々な商品の説明を写真付きで説明してくれたから。実際に自分で組み立てることができたから。
文具に使われている部品のすべてをリサイクルできるわけではなく、細かい部品は精密さが求められるのでリサイクルは難しいことが分かった。
最後の方の説明を時間に合わせて駆け足でもらったため。ゆっくりしてもらったらもっと理解が深まったと思う。
身近な文具の話だったので話が伝わりやすかった。
黒板に図をかき、分りやすく説明してくれたから。
実際に組み立てるなど、実物を触ったり見たりすることができた。パンフレットや図もあってわかりやすかった。

<わからなかった>

該当なし

Q 3. 授業を受けた企業の「環境への取り組み」について感想などを自由に書いてください。

文具を組み立てるのは初めてだったので楽しかった。トンボの文具は前から使いやすくて好きだったので話を聞いてもっと好きになった。
木物語という鉛筆は知っていたが、リサイクル商品だとは知らなかった。様々な工夫がされていてすごいと思った。
文具メーカーと環境の関係は良く知らなかったが、どの企業も考えていて関心した。
買うことが大切だと分かった。
企業側だけでなく、自分たちも環境に関してできることがあると知り、これからやっっていこうと思った。
これからは使うがどうかしっかり考えて買いたい。
文具好きで割とすぐ買ってしまいうせがあるから直していきたいと思った。
鉛筆の木をつなぎ合わせたり、リサイクルしたりなど、たくさんの工夫がされていると思った。
文房具は一見環境とか関係なさそうに見えても、色々気を使っていると驚いた。
商品の中から捨てなくてはいけない部品が出てしまうが、リサイクルできる部分を生み出そうとしているのがすごいと思った。
色々なところで環境にこだわっていることが分かって良かった。私たちも環境にこだわっていけたらよいと思った。
実際に鉛筆がどう作られているのか知らなかったのも、とても興味深かった。こまかな説明で分かりやすかった。
買う時によく考えることで無駄が少なくなると分かった。
本体を何度も買うのはお金がかかるし環境にも良くないので、詰め替え用があるのは便利だと思う。
環境への取組みはリサイクルだけだと思ったが、使う材料から工夫していると知りこれからまだまだ環境のためにできることがあると思った。
商品開発について詳しく話が聞けて面白かった。鉛筆自体は捨てるしかないが、作る時の木をつなぎ合わせているのがすごいと思った。
筆箱の中にトンボの商品がたくさんあって、これからは少しでも長く使ってエコに出来たらよいと思った。
食品の企業などは想像しやすいが、トンボの取組みを聞いて、自分の環境への知識が広がった。
全然知らなかったが、今回分かった。
今日いただいたテープのりを大切に使い、自分も環境への取組みに貢献したい。
環境について考えていて驚いた。
鉛筆の作り方を知ることができて良かった。
文具などは最後まで使い切って環境のためになることをしたい。
文具の開発に興味があったので聞いていて楽しかった。
部品もリサイクルへの取組みをしていて環境に優しいと思った。詰め替えもエコだと思った。
のりを組み立てるのが楽しかった。
商品を作りながら環境も大切にしているすごいと思った。
テープのりを作る作業が楽しく、鉛筆も環境のことを考えた工夫があつてすごいと思った。私も買う前によく考えようと思った。
自分たちが吟味して買うことが大切だと分かった。
小さい商品でも多くのアイデアがつまみでいてすごかった。
とても面白かった。これからテープのりを使っていこうと思う。

とても良い取り組みだと思った。これからは今まで以上に物を大切に使いたいと思った。
文具という環境とは関係なさそうなことでも、しっかり環境に対して工夫していると感心した。芯の残りが見えるシャーペンがあると良いと思った。
企業も様々な工夫を凝らして活況について考えていて、国全体で考えられたら良いと思った。
環境への取り組みはエコを中心に考えていることを知った。
リサイクルは地球環境に大切だと改めて実感した。自分も3Rを守っていきたいと思った。
自分の知らないところで環境への取り組みがされていて驚いた。自分も出すゴミは最小限にしようと思った。
詰め替えできるのがすごいと思った。材料のあまりでつなぐのも技術がすごい。
テープのりなど色々なものを作っていると知り驚いた。
文具が好きなので今回聞かせていただいた。文具もこんなに環境に優しいことが分かり、楽しく聞けた。
消費者が質などを見極めて買うことが大切だと分かった。自分ができることがあると知ったので、しっかり実行していきたい。
一番身近なのは、しっかり考えて買う事だと分かった。
こんなに環境について考えていることは知らなかったのでよかった。
詰め替えタイプのテープのりは捨てるのを減らすために作られたもので、自分も物を大切に使うっていいと思った。
文具の中にリサイクルがふくまれているなど、とても身近にある文具の新しい一面を知ることができ面白かった。自分で組み立てるのも面白かった。
文具は使ったら捨ててしまうものが多いが、トンボ鉛筆は詰め替えや原材料にもこだわっていることが分かった。私たち高校生にできることは、まだまだあるので心がけて買い物をしたい。
テープのりを詰め替え可能にしたり、はり直しができるようにしたり、鉛筆をつくる板をムダなく使うことがエコにつながると分かった。
最後の方に話してくれた鉛筆の話が印象に残った。
買う時にこだわりを持って買うことでエコな環境にすることができると思った。すぐ実践したいと思う。テープのりの組み立て方も分かって良かった。
テープのりを組み立てられて楽しかった。話を聞くだけでなく実物を見て楽しめた
必要以上に買わないことは環境を良くすることにもつながることが分かった。自分も実行していきたい。
買って使う側にも環境への取り組み方があることで、長く使えるものを選んで買うことは大切だと思った。
使い捨てではなく、何回も使えるような商品だったり、エコな素材を使っていたり環境にやさしいなと思った。
テープのりをただもらうのではなく、自分で組み立てることで大切に使うという意識を持つことができた。
私たち買う側のたった一つの行動でも、積み重なれば大きなものになるので、自分の行動を改めて見直していきたいと思った。愛着を持って文具を使いたい。
実際に文房具を組み立てたり触ったりすることで、仕組みなどがよく分かった。
授業を受けてみて企業の取り組みだけでなく、私たちの取り組みも大切だと思った。
自分でこだわって物を買っていきたくらいと思った。エコなものや新しい物を混ぜて作ることで品質を落とさないのはいいなと思った。
鉛筆での工夫が一番すごいと思った。小さい時からずっと家にあったが、つなぎ目には気づくことができず、新しい発見ができた。
私たちが使っている文房具の中でもリサイクルされたりして再利用されたものがあることを知り、環境への取り組みを身近に感じた。

<p>私たち高校生にできることは「買う」という事だと分かった。しっかりと良く考えて物を買ひ、長く使用していきたい。</p>
<p>文房具1つ1つに環境への配慮、使用者の意見、デザイン、性能、色々なことが分かった。良く考えられて開発されていることを知り、すごく関心した。ふだん、何気なく使っているけれどそういうことも意識して全部使い切ることを意識していきたい。</p>
<p>文房具という小さなものにも環境に気を使っていることがすごいと思った。</p>
<p>私は文房具にあまりこだわりを持っていなかったのですが、今後そういうことに気を付けたいと思う。</p>
<p>鉛筆の作り方とか、鉛筆が木をつないでできるものがあることを知らなかった。テープのりも他文具も私たち使う人のニーズに合わせてくれてとても使いやすいと思う。</p>
<p>できるだけリサイクルされたものを買おうと思った。鉛筆の木の板で使えない部分があっても、その部分だけカットして使うことに感動した。自分もこだわりを持って選び、商品を買おうと思った。</p>
<p>鉛筆などの文具をすぐ取りかえたりせず、買う時にきちんと選ぶことが大事だと改めて思った。</p>
<p>普段、廃棄してしまうものを再利用したり、リサイクルしたものと新しい資源を組み合わせて商品を作っているところに感動した。こだわりを持って考えて買うことが大切だと思った。</p>
<p>すぐにエコに結びつくものが思い浮かばなかったが、話を聞いて部品の一部に再利用の物を使っていてびっくりした。</p>
<p>鉛筆はリサイクルできそうだと思っていたが、テープのりがリサイクルできるとは知らなかった。木も使えないところ以外を組み合わせるのはとてもエコで面白かった。</p>
<p>鉛筆に使う木に節が入っていたら、捨ててしまうのかと思っていたが、使える部分をつなぎ合わせて使っていると知った。</p>
<p>品質を良くすることが環境への取組みになることや、いつも使っている鉛筆のつなぎ目は節のところを切ってつなげていることなど、色々なことを知ることができ良かった。</p>
<p>鉛筆を作る木の板が使用できない部分を取り除いて作ってあることに驚いた。私たちにできることがあると知ったので、これから実践していきたい。</p>
<p>すべてがリサイクルできるわけではないことが分かった。その中でより使いやすく、環境にやさしい商品を作ることはすごいと思った。</p>
<p>あまり消しカスが出ず、消しやすい消しゴムがあったら使ってみたい。</p>
<p>文具が好きなので、良く見たり買ったりするが、安さだけでなくゴミが少ないとか長く使える良いものを買いたいと思った。</p>
<p>小さなことでも社会の環境問題に貢献できることを知り、少しでも努力したいと思った。</p>
<p>普段使っている文具のいろいろなところで環境のことを考えていることを知って驚いた。</p>

以上